


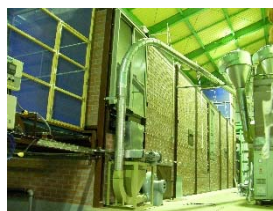
平成30年度		
氏名	おくとも やすひろ 奥富 康裕	
生年	昭和26年生	
住所	埼玉県狭山市	
品目	狭山抹茶（さやままっちゃ） ・ 狭山茶の産地で生産される狭山抹茶「明松」など ・ 平成元年の国民文化祭・埼玉大茶会を契機に取組みを開始 ・ 発色の良さが特徴で、今年の日本茶コンクール（パリ）で「明松」が金賞を受賞	
技術	専用品種を用いた碾茶の生産と高品質な抹茶の製造 ・ 自園での煎茶、碾茶、紅茶に加え、碾茶製造工場で抹茶を加工 ・ 先進地での研修に基づき、専用品種を導入し地域特性に応じて栽培管理を最適化 ・ 抹茶加工においては機械のライン化により加工を効率化	
活動状況	・ 昭和45年に就農、茶を中心に露地野菜・麦・養蚕の複合経営から茶を拡大、現在の経営規模は茶園320a、露地野菜35a ・ 抹茶には平成3年から取組み、専用品種は70aで茶園の21.9% ・ 碾茶製造工場（明日香）に生葉を供給するほか、工場では栽培、加工、販売、経理を担当 ・ 碾茶の栽培部会で年2回の栽培指導を行なうほか日本茶インストラクターの研修会での講師及び視察の受入に対応（年7回程度） ・ 埼玉県茶業研究所が新たに導入した碾茶加工用機械の技術交流製造を実践 ・ 土壌診断の取りまとめをし、診断結果を栽培履歴から具体的な対処を指導	
相談に 応じられる 分野・内容	・ 碾茶の栽培 ・ 碾茶の加工技術 ・ 抹茶の加工技術	
受賞歴等	・ 煎茶部門においては全国関東、県品評会で上位賞を受賞 ・ 彩の国さいたまお茶まつり狭山茶品評会農林水産大臣賞受賞 第49回（平成15年）、第51回（平成17年）、第56回（平成22年） ・ 平成元年（第11回）彩の国さいたまFGTC（フレッシュグリーンティーコンペディション）サヤマ農林水産大臣賞	
主な役職		
H P		



抹茶



狭山抹茶「明松」



工場内部



工場外観